

# 景況レポート

(9月分・情報連絡員80名)

## 景況DI値が再び後退

### 【概況(全体)】

9月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが12.5%(前回調査13.8%)、「悪化」が36.3%(同36.3%)で、業界全体のDI値は-23.8となり、前月調査と比較し1.3ポイント下回った。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、製造業は前月に引き続き大幅に上回った。これは木材・木製品や鉄鋼・金属が好調に推移したほか、食料品の悪化割合が縮小したことによるものである。この結果、全体のDI値も全国及び東北・北海道ブロックを上回った。

### 【業界別の状況】

業界別では、繊維工業やサービス業などで景況感が後退した。このうち旅行業については、国内旅行は好調を維持しているが、海外旅行は低調に推移した。一方、食料品、卸売業では、業況の悪化割合が縮小した。なお、全体の景況感としては、依然として需要の減退や個人消費の低迷等により景気回復を実感できない状況が続いており、また、需給不調に起因する物価の急騰に加えて、人件費負担等の経営コストも増大していることから、中小企業の先行きは依然として予断を許さない状況にある。

### ＜全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較＞

	秋田県	全 国	東北・北海道
全 体	-23.8	-29.9	-28.2
製 造 業	-15.7	-29.5	-24.8
非製造業	-29.2	-30.2	-30.2

### ＜景況天気図＞

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製 造 業						
非製造業						

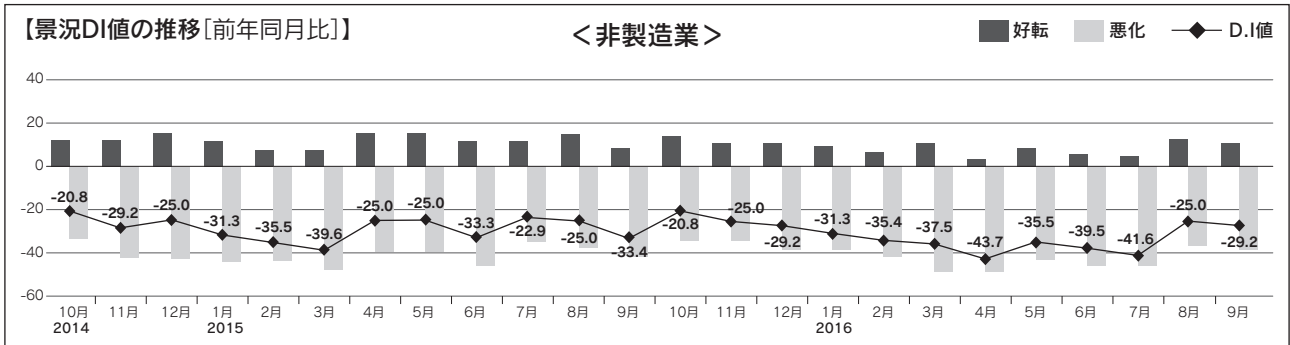
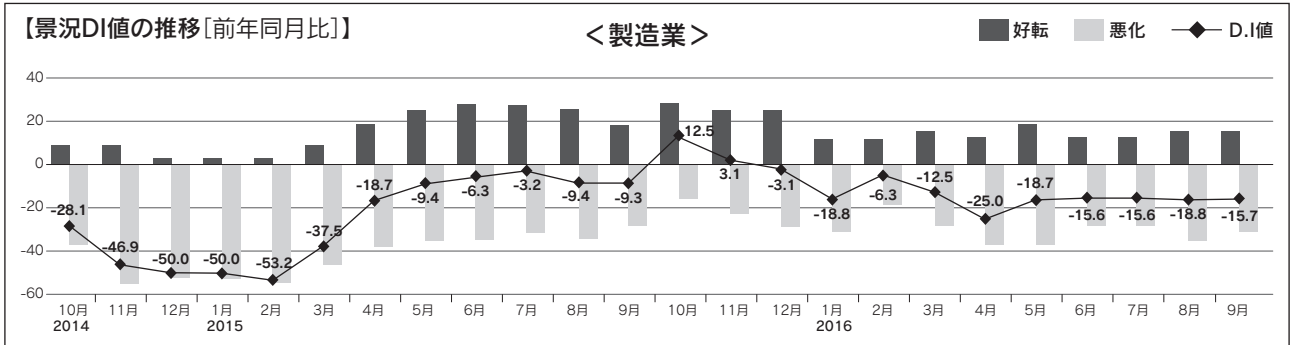
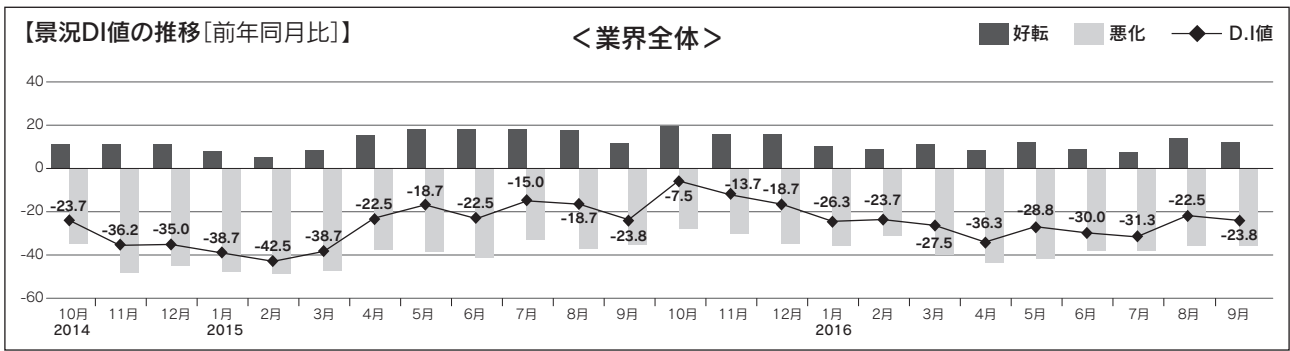
【凡例】 **【天気図の見方】** 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

### 【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

食料品 (菓子)	残暑が厳しく売上は思うように伸びなかったが、彼岸に入り、過ごしやすくなるにつれ回復傾向にある。
繊維工業 (ニット)	組合員企業各社とも、受注状況は前年並みを確保している。しかし、昨年の暖冬によりアパレルが在庫過多になっており、仕入調整に入った影響から、期中生産の発注が止まり始め、月末から来月にかけて一部生産ラインが空く事例も見られる。
繊維工業 (繊維)	店頭売上が低迷しており、受注量が減少傾向にある。(中央地区)
木材・木製品 (一般製材)	受注は前年並みに推移しているが、製品販売価格の引き下げ要請が強く、景気回復の気配は感じられない。(中央地区)
木材・木製品 (プレカット)	9月は住宅受注が好調であることに加え、畜産試験場などの受注もあり、前年並みの業績となっている。
印 刷	イベント等が減少したため、仕事の件数も減少傾向にある。(県南地区)
窯業・土石製品 (生コンクリート)	9月の出荷数量は、前年同月比82.7%、4～9月の累計では前年比87.2%となった。大館北秋地区では、日治道工事の終了が近づいていることから、累計で前年比60%後半、秋田中央地区では累計で前年比70%後半と厳しい状況が続いている。
鉄鋼・金属 (機械金属)	前月に引き続き、各組合員企業とも受注が確保されており、業況は順調に推移している。
一般機器 (金属加工)	業況は、総じて活発に推移している。しかし、価格や納期等の取引条件は、依然として厳しい状況である。
その他の製造業 (曲げわっぱ)	弁当箱の売上は、依然として好調である。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：48名 回答率：100%)

卸売業 9月の売上は、前年同月比92.9%で推移した。台風や記録的大雨の被害により、野菜の品(青果卸) 薄で価格が高騰したため、売上は低迷した。

小売業 商品券の売上が前年同月比で増加した。(秋田市)  
(ポイントカード)

小売業 季節外れながら、各店舗ともエアコンの売上が上乘せされ、前年同月比110%で推移(電機) した。

商店街 飲食業は、全体的に収益面で増減は感じられないが、他業種は全体的に減少傾向となっている。(秋田市)

9月は、イベント等の開催もなかったため商店街は閑散としており、売上も依然として厳しい状況にある。(湯沢市)

サービス業 9月の売上は、前年同月比で国内旅行は125.8%、海外旅行は68.0%で推移した。国内(旅行) 旅行は依然として好調を維持しているが、海外旅行は低迷している。

建設業 住宅関係は平年並みに推移しており、春先と比べ景況は回復傾向にある。公共工事が依然として少ないものの、多忙となっている。(秋田市)

運輸業 新米の出荷も始まり、運送量は回復傾向にある。しかし、改善基準(労働時間制限) 遵守のため、経費(高速料金、人件費等)が増加している。(中央地区)

その他の非製造業 成瀬ダム工事関係により、骨材が昨年より20%増加となった。(県南地区)  
(砂利採取)